

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：精華町

プロジェクト名	精華町住民満足度向上プロジェクト		実施期間	平成27～28年	テーマ	その他	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	平成23年に実施された精華町第5次総合計画策定に向けた住民意識調査（以下、「意識調査」という）において、「精華町で暮らすこと」の総合的な評価として、「満足している」及び「まあ満足している」を選択した方は回答の約60%となっており、全体として一定程度の満足度は得られている一方で、精華町での暮らしに満足されていない方も4割近くいることが浮き彫りになっている。 精華町は学研都市の開発に伴って急激に人口が増加（主にファミリー層が主体）した町であり、将来的な視点から見ると、新興地域においては今後の世代交代後における定住の維持、既存地域においては高齢化対策という、それぞれの課題への対応が問題となってくる。 このような中、住民の暮らしへの満足度を向上させることで、今後も住み続けたいまちとして住民に認識されるような施策が必要となっている。							
プロジェクトの目的及び概要	精華町の住民満足度の向上策として、比較的住民満足度が低くかつ重要度が高い、交通の利便性・安全性の向上に向けた様々な施策を実施する。また、住民による地域活動を積極的に支援することにより、それぞれの活躍の場を通じて、地域の一員であるという実感を住民一人一人に実感していただく。これらを通じて、住民の満足度を向上を図ることを目的とする。							
	総事業費（千円）	125,288	本年度事業費（千円）	62,644	交付金額（千円）	7,378		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	道路照明明るごとLED化事業	交付対象事業	頻繁に球切れが発生する既存の道路照明（安全灯）をLED化することにより安全な交通環境を確保。			安全灯：888基、道路照明：42基のLED化		
	くるりんバス運行事業	交付対象事業	町内巡回バスの運行による住民の交通手段の確保。			年間乗降実績 76,730人（213名/日）		
	地域公共交通会議運営事業	交付対象事業	最適な公共交通のあり方の検討。			地域公共交通会議 年間開催回数 3回		
	交通安全施設整備事業	交付対象事業	交通危険箇所へのカーブミラー等の設置。			カーブミラー新設：6基、安全灯設置：43基		
	簡易水道統合事業	交付対象事業	既設上水道と簡易水道との接続工事に対する地方債償還に係る公債費。			統合事業に係る地方債償還（元金） 1,576,842円		
	集会所建設事業	関連事業	老朽化が進む集会所の建替工事。			山田地区集会所建設（軽量鉄骨平屋建 204.9㎡）		
住民協働事業	きれいなまちづくり運動推進事業	交付対象事業	住民の自主的なまちづくりへの啓発、誘導。			きれいなまちづくりコンクール応募数：10点 花いっぱい運動活動支援（種子配布）：6,490袋 花いっぱい運動助成交付地区：5地区		
	公共的活動推進事業	関連事業	公共人材の育成や支援により住民主体のまちづくりを促進			せいかまちづくり塾開催回数：5回、修了者数10名		
	里山保全モデル事業	交付対象事業	「せいか里山」の保全・再生を行い、町民の憩いの場を創る。			保全活動のべ参加人数：238人 その他、せいか祭りの活動PRを実施		
	精華町クリーンパートナー制度	関連事業	町内道路・公共施設の清掃や除草、花植などの住民活動。			年間通じ、各団体が随時清掃・除草等の作業を実施。		
	さわやかボランティア・ロード	関連事業	町内府道の清掃や除草などを行う住民活動。			年間通じ、各団体が随時清掃・除草等の作業を実施。		
	山城うるおい水辺パートナーシップ	関連事業	町内河川敷等の除草・清掃を行う住民活動。			年間通じ、各団体が随時清掃・除草等の作業を実施。		
住民が取り組む事業								
成果指標①	成果指標の目標数値	公共交通に対する満足率 55.0%(H28年度時点)		成果指標の実績値（〇年〇月〇日時点）		-		
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)	次回の町民意識調査は平成28年度に実施予定であるため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	町民意識調査は総合計画の策定（中間見直し含む）に合わせて実施しており、次回の調査は平成28年度に実施予定であるため。			(時期)	平成29年3月31日	
成果指標②	成果指標の目標数値	精華くるりんバス年間乗降客数 75,700人		成果指標の実績値（平成28年3月31日時点）		76,730人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標値を上回ったため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)						(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	公共的活動支援対象事業件数 30件		成果指標の実績値（平成28年3月31日時点）		10団体		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	応募団体数が減少傾向にあり、目標値を下回ったため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)						(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	クリーンパートナー制度登録団体数 18団体		成果指標の実績値（平成28年3月31日時点）		19団体		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標値を上回ったため				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)						(時期)
成果指標⑤	成果指標の目標数値	せいかまちづくり塾修了者数 14人		成果指標の実績値（平成28年3月31日時点）		10人		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標値は下回ったものの、前年度を上回る実績となったため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)						(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	各事業における住民・関係団体等への働きかけ・PRの結果、概ねの成果指標において目標を達成することができた。これらの取組みが成果指標①「公共交通に対する満足率」の達成につながるよう、引き続き取組みを継続する必要がある。なお、成果指標③「公共的活動支援対象事業件数」については、コミュニティ助成事業（一財）自治総合センター）及び京都府地域力再生プロジェクトの申請数を計上しており、事業の周知やニーズの把握について関係課と連携のうえ改善を図る必要がある。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	クリーンパートナー等の協力により、町内の美化が進んだことに加え、居住している町・地域への愛着を深め、暮らしへの満足度を高める効果がある。						
	府と市町村等との連携に資する成果							
	住民の自治意識を高める成果	まちづくり塾により、地域におけるまちづくりの担い手を育成できた。また、各種住民との協働事業により、まちを自分たちの力でより良くしていくという意識が醸成されている。						
	リーディング・モデル成果							
	広域的波及成果							
	行財政改革に資する成果	道路照明のLED化により、電気代が削減されるとともに、球切れ対応が減少し、時間外等の対応が軽減している。						
その他の成果	町内を循環するコミュニティバスは、公共施設への利用客が一定数を占めており、公共施設の利用促進においても寄与している。							

（記載要領）

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは-を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：精華町

プロジェクト名	「せいか365」精華町健康増進プロジェクト		実施期間	平成27～28年	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本町では、生活習慣病の方や介護を必要としている方が増加しており、その予防が、個人や家族の健康問題としてのみならず、医療費など保険給付費の伸びの抑制の面からも、地域や町全体の喫緊の課題となっている。本町の扶助費の当初予算額は、ここ5年間で2億9,276万円（約20%）の増額となっており、町税収入が伸び悩みを見せている中、いずれ財政運営に支障を及ぼす可能性も危惧される状態となっている。このような状況において、健康寿命の延伸のため、町民一人ひとりが健康づくりに主体的に参画することで、笑顔でつながり地域で支えあいながら、世代や性別、障害の有無、家庭環境に関わらず、健やかで元気に満ちた地域社会を実現するための取り組みが必要となっている。							
プロジェクトの目的及び概要	「健康ダカラ毎日が楽しい！せいか365(さん・ろく・ご)」をキャッチコピーとして、「ヘルスプロモーションの考え方に基づいた健康づくりの推進」、「病予防と元気増進の調和がとれた健康づくりの推進」、「住民参加・参画による健康づくりの推進」、「地域包括ケアシステムの推進」、「健康でいきいきとした人生を送るための支援」を目標とした各種施策を実施する。							
	総事業費（千円）	139,370	本年度事業費（千円）	49,515	交付金額（千円）	9,838		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	健康づくり推進事業	交付対象事業	健康増進への意識向上を図り、それを実践に結び付けていくための諸活動。			健康づくりプロジェクトのべ参加者数 10,175人		
	障害者在宅生活推進事業	交付対象事業	障害者の自立と社会参加の促進を図るための支援を実施。			障害児移送サービス利用者数 50人/月		
	家族こころの相談室事業	交付対象事業	家族・家庭内の様々な問題に悩んでおられる方への相談室開催。			相談室利用人数（組）数 40名		
	高齢者居宅生活支援事業	交付対象事業	要介護高齢者や一人暮らし高齢者及びその家族等の在宅生活を支援。			介護激励金支給者数 89名		
	子育て支援事業	交付対象事業	心身に障害のある児童や発達障害のある児童の支援相談。			心身障害児レクリエーション事業参加児童数 151名		
	母子父子家庭の医療費助成事業	関連事業	母子父子家庭の子どもに対する医療費を助成。			助成者数（町独自）：91名		
	障害児放課後児童健全育成事業	関連事業	障害を持つ児童について、遊びを主とする健全育成活動を行う児童クラブの運営。			利用実人数：10名		
住民協働事業	福祉人材・ボランティア育成事業	交付対象事業	高齢者や障害者等を対象にした各種ボランティアの育成。			点字ボランティア養成講座 6回開催 15名終了など		
	精華町ふれあい祭り事業	交付対象事業	地域福祉センター「かしのき苑」で開催される、町民と高齢者、障害児者がともに楽しみ、交流の輪を広げるための行事。			ふれあい祭り参加者数 約1,800人		
	精華町敬老会	交付対象事業	満74歳以上の高齢者を対象に、長寿を祝福し、一層の健康と活躍を祈念する行事。			敬老会参加者数 740名		
	いきいき健康ウォーク	関連事業	精華町内外でのウォーキング活動。			のべ参加者数：545名		
	わくわく健康里山の会	関連事業	里山交流広場を利用し、里山での野菜作りや土いじりなどを行う。			のべ参加者数：545名		
	さあ！これから塾	関連事業	50～70代の方々が集まり、交流を深めながら様々な活動を行う。			のべ参加者数：326名		
住民が取り組む事業	せいか食育劇団もぐもぐ	関連事業	町内の子供たちに人形劇や寸劇を通して「食」の大切さを伝えるボランティア事業。			のべ参加者数：1,787名		
	いちご★体操プロジェクト	関連事業	町のご当地体操である「いちご★体操」の普及を図るボランティア事業。			のべ参加者数：6,972名		
成果指標①	成果指標の目標数値	健康増進活動プロジェクト参加者数 12,000人		成果指標の実績値 (平成28年3月31日時点)		10,175人		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標人数に到達できなかったため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標②	成果指標の目標数値	要介護(支援)認定者率 15.0%		成果指標の実績値 (平成28年3月31日時点)		15.50%		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標数値に到達できなかったため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標③	成果指標の目標数値	福祉ボランティア人数 640人		成果指標の実績値 (平成28年3月31日時点)		594人		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標人数に到達できなかったため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	各種啓発事業の実施によりご当地体操「いちご★体操」は住民の間に浸透してきており、日ごろの生活における健康づくりの重要性についての認識は深まってきている。しかしながら、目標値の達成には至っておらず、更に幅広い働きかけ・啓発活動に取り組んでいく必要があり、まずは役場職員がモデルとなるよう職員部会での活動を積極的に行っていく。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	各健康増進プロジェクトにより、児童から高齢者まで多くの方への健康に関する啓発活動を行うことができた。						
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府より「産学公連携によるプラットフォーム事業」を受託し、京都大学及び民間企業と協働により、いちご体操を活用した健康効果の検証等を進めている。						
	住民の自治意識を高める成果	健康増進プロジェクトの担い手は住民ボランティアであり、住民がまちをより良くしていくための自発的な取組が進んでいる。						
	リーディング・モデル成果	健康づくりプロジェクトの「いちご★体操プロジェクト」が「母子保健推進会議会長表彰」を受賞するなど、その取組は先行事例として評価を受けている。						
	広域的波及成果							
	行財政改革に資する成果	健康への関心が高まり、健康長寿のまちづくりが実現することで、扶助費等の削減につながる。						
その他の成果								

(記載要領)

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：精華町

プロジェクト名	文化的活動を通じた豊かなまちづくりプロジェクト	実施期間	平成27～28年	テーマ	その他	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	精華町をはじめとするけいはんな学研都市は、日本固有の文化を代表する京都・奈良といった歴史地域に囲まれ、豊かな歴史文化と先進的な文化学術研究機関の融合した都市である。本町では、今年5月にサントリー株式会社の新しい研究開発拠点が完成し、ますます学術研究の都市としての地盤を固めている。しかしながらその一方で、学術研究都市の「文化」の面では、いまだ精華町の特色を出せていないのが現状である。このような状況において、文化的活動が地域社会にもたらす効用を再認識し、住民の生活にゆとりや潤い、生きがいなどの精神的な充足感をもたらす取り組みが必要となっている。						
プロジェクトの目的及び概要	読書やスポーツ、コンサートや祭りなどのイベント等文化的・教育的活動を通して、子どもは健やかに育ち、高齢者はいきいきと活力をもって暮らしていけるようにするための様々な事業を実施する。また、学研都市にふさわしいグローバル化された文化的なまちを目指し、国際交流の推進事業を実施する。						
	総事業費（千円）	56,440	本年度事業費（千円）	18,057	交付金額（千円）	4,058	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	文化振興事業	交付対象事業	町民の文化・スポーツに対する意識の高揚に向けた、各種奨励金や活動助成等。		精華町文化協会会員数：601名（8連盟35団体）		
	文化財保護事業	交付対象事業	地域的個性が生かせるような保護施策。		精華町文化財愛護会会員数：88名		
	移動図書館車運行事業	交付対象事業	町内移動図書館車の運行。		移動図書館運行地区：24地区		
	学研都市活性化事業	関連事業	学研都市活性化を目的とした各種イベントの誘致費用。		けいはんな学研都市交流活性化助成金対象団体：7団体8事業 けいはんなプラザ・プチコンサート出張コンサートの実施等		
	スポーツ推進委員会運営事業	関連事業	住民へのスポーツ実技指導や助言。		ほほえみスポーツ広場（月1回、年間12回）の開催等		
	小中学校文化交流会事業	関連事業	各小学校・中学校の交流の場として、合同合唱コンサートを行い文化的活動を推進する。		小中学校文化交流会開催：年1回		
住民協働事業	けいはんな学研都市文化振興事業	交付対象事業	ふれあいコンサートなどの実施。		ふれあいコンサート等開催回数：年4回		
	国際交流推進事業	交付対象事業	国際交流・理解に関する各種事業を民間団体と共催。		国際理解フェスティバル参加者：60人 国際交流サロン開催回数：8回、のべ参加者数：30人 等		
	生涯学習支援事業	交付対象事業	住民の自主活動の育成及び生涯学習の充実と推進。		精華寿大学延べ受講者数：541名 等		
	子ども祭り事業	交付対象事業	子どもたちに体験を通じた学習の場を提供。		子ども祭り参加児童数：約1,100人		
	生涯スポーツ振興事業	交付対象事業	町民の健康増進と相互交流の振興。		第33回総合スポーツフェスティバル参加者数：912名 第8回精華マラソン参加者数：424名 第42回町民体育大会参加者数：4,524名 等		
	地域密着型情報化推進事業	関連事業	活発な住民間情報交流を推進する。		パソコン基礎相談 開催回数：58回、相談者数：のべ387人		
	読書推進事業	関連事業	読書に関する各種イベントの開催。		図書館探検ガイド 参加者数：26名 文学講座 参加者数：34名 等		
住民が取り組む事業							
成果指標①	成果指標の目標数値	学研都市イベント参加者数 42,000人		成果指標の実績値 （平成28年3月31日時点）	34,686人		
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	目標値を下回ったため			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）			
成果指標②	成果指標の目標数値	文化フェスティバル出展・出演者数 500人		成果指標の実績値 （平成28年3月31日時点）	462人		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	目標値は下回ったものの、近似値を達成できたため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）			
成果指標③	成果指標の目標数値	精華町子ども祭り参加者数 1,800人		成果指標の実績値 （平成28年3月31日時点）	1,100人		
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	目標値を下回ったため			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）			
成果指標④	成果指標の目標数値	国際交流事業参加者数 350人		成果指標の実績値 （平成28年3月31日時点）	557人		
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	目標値を上回ったため			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）			
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	各種講座やイベントを開催し、文化的活動の推進に努めた。一部天候等の状況により目標未達成となった指標があり、より参加いただけるようなイベント内容となるよう工夫を行うとともに、参加者自らが事業に参画するといった新たな段階へ進めていくといった取組についても検討を進める必要がある。						
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。						
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	住民協働で行っている地域密着型情報化推進事業では、ICTの活用による地域情報化を推進しており、学研都市ならではの地域人材を活用した取組が行われている。					
	府と市町村等との連携に資する成果						
	住民の自治意識を高める成果	各種住民協働事業においては、知識・経験を持った地域人材が講師となって住民間での知識の伝承が行われるなど、地域内での協力関係が構築されている。					
	リーディング・モデル成果						
	広域的波及成果	関西文化学術研究都市の中心地である精華・西木津地区における文化振興を推進することにより、3府県8市町にまたがる学研都市全体のブランドイメージ向上に資することができる。					
	行財政改革に資する成果						
	その他の成果	学研都市にふさわしい文化的なまちづくりに向け、住民と一体となった取組を進展させることができた。					

（記載要領）

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：精華町

プロジェクト名	3つの京都推進プロジェクト（精華町）		実施期間	平成27～29年	テーマ	その他（3つの京都）	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>地域創生の実現のためには、地域の魅力を最大限に引き出し、交流人口の拡大・産業の振興を図ることが必要である。特に、3つの京都に関しては以下の課題があり、これらの克服を図る。</p> <p>【海】観光資源は豊富であるにも関わらず、景観整備やコンテンツが不十分である。また、観光資源が点在しており、周遊するシステムが十分に整備されていないため、日帰り観光客が多く地域経済への波及効果も限定的である。</p> <p>【森】担い手不足や木材価格の低迷などにより集落機能の維持・管理が困難になっており、新たな視点で森資源を活用する必要がある。また、森林の公益的機能が低下することや森の文化の継承が困難であることについて懸念があり、野生鳥獣被害への対応も求められている。</p> <p>【お茶】文化や産業の衰退にもつながる、消費の減少や生産者の高齢化が進んでいる。地域全体としての発信力に欠け、相乗的な経済効果を生んでいない。また、宿泊施設が少なく日帰り観光が可能で、魅力的なコンテンツや回遊システムが十分に整備されていないため、一人当たりの観光消費額が低い。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>豊かな自然や長い歴史に磨かれた地域の資源や特性を活かし、市町村と府が連携して総合的かつ計画的に特色ある地域づくりを進める。産業・観光を振興することを目的とする。</p>							
	総事業費（千円）	1,786	本年度事業費（千円）	1,786	交付金額（千円）	610		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	けいはんな記念公園周辺道路整備事業	交付対象事業	けいはんな記念公園からお茶に関連する史跡の残る北稲八間区への周遊道路整備。			北稲八間地区への安全な周遊経路の構築。		
	パンフレット・サイン等作成・設置事業	関連事業	観光パンフレット・サインの作成・設置。			観光パンフレット（10,000部）及びサイン（祝園駅）を設置。		
成果指標①	成果指標の目標数値	TOUR OF JAPAN2016 来場者人数 30,000人			成果指標の実績値（平成27年5月30日時点）	50,000人（京田辺市への来場者含む）		
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	目標数値を達成したため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）				
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	道路整備により来場者の利便性が高くなるとともに、安全な大会運営が出来たことによって、目標を大きく上回る実績につながった。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	観光パンフレット・サインを作成・設置したことにより、大会と合わせた観光客数の増加につながった。						
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府との連携により推進してきた「お茶の京都」が、地域にも浸透してきている。						
	住民の自治意識を高める成果	お茶に合ったスイーツの開発が試行されるなど、住民・企業の協力が得られている。						
	リーディング・モデル成果							
	広域的波及成果	京都府南部が一体となって「お茶の京都」を推進しており、地域イメージ・ブランド力が向上できている。						
	行財政改革に資する成果							
	その他の成果							

（記載要領）

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。